

断水時の技術対策（酪農）

断水時に想定される影響と対策	
酪農家での影響	必要な対策
<ul style="list-style-type: none">・乳牛が飲水できない・搾乳機器の洗浄ができない	<ul style="list-style-type: none">・井戸水などの利用・受水槽等の確保及び給水対応・飼料や水の状況に応じた飼養管理の変更

1 断水時の乳牛飼養対策

- (1) 断水の場合は、サイレージ等水分の多い粗飼料を中心に給与する。
- (2) 放牧が可能であれば、水分補給とストレス解消のために放牧地へ放す。
- (3) 給水車等の大型車で給水を受ける場合は、水を貯める大きな貯留タンクを準備する。
また、木枠やコンテナ・素堀の穴にビニールシートを張って、簡易な貯水槽を作る方法もある。
- (4) 断水が長引いた場合、乾乳に近い牛は乾乳を検討し、泌乳前・中期牛の飲水確保を優先する。
- (5) 牛の健康状態を確認して、異常牛はすみやかに獣医師の診察を受ける。

2 断水が回復したら

- (1) 水道は、復旧してからも濁りや水質が悪い場合があるのでよく観察する。
- (2) 目がくぼむなど脱水症状がみられる牛は速やかに飲水させ、その後の体調観察を十分に行う。
- (3) 脱水した育成牛が一度に自由飲水したために、過剰飲水による死亡事例があるので、徐々に飲水させる等注意する。
- (4) ミルカー、パイプライン、バルククーラー等、搾乳機器の点検を行い、異常が見られたらメーカーに修理を依頼する。
- (5) 断水によって、搾乳機器の洗浄が不十分であった場合は、給水復帰後、特に念入りにミルカーとバルククーラーの洗浄を行う。
- (6) 搾乳時は、PL テスターやストリップカップを用い、凝固物（ブツ）の有無を確認し、乳房炎に罹患している場合は治療を行う。

■お問い合わせ

宗谷農業改良普及センター本所(中頓別町 TEL01634-6-1414) 支所(豊富町: TEL0162-82-2119)